

(学年) 2 学年, (教科・科目) HR 活動・人権教育

協働学習

(単元) 「世界と人権」

(本時のねらい)

世界で難民が増え続けている背景と, 非識字者について理解させ, 正しい知識をもとに積極的に人権課題の解決に取り組む姿勢を養う。

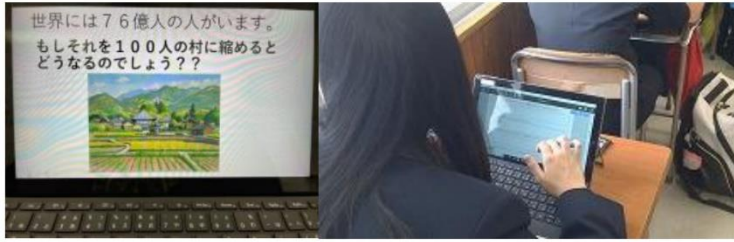
(ICT 活用方法)

動画やイラスト等を利用したプレゼンテーションを使って, 生徒の興味を引きつけ, 世界の人権課題について理解させる。授業支援クラウドアプリを使って, 生徒の積極的な意見交換を促す。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> イラストを活用し, それぞれが考える, 幸せとは何かを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活している環境について客観的に理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションソフトを利用し, 現在の生活を客観的に理解させる。
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> 「世界がもし 100 人の村だったら」という作品をもとに, 世界の現状について学習する。 意見交換により, いろいろな考え方に触れる。 「世界がもし 100 人の村だったら」というテーマで, 自身が理想とする世界を考え, グループで話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に授業に参加するよう発問を積極的に行う。 「人権課題」を考える上で大切な相手の考えを理解する力を磨くよう, ゲームを行う。 積極的に発表したり, 他のグループの意見に傾聴し, 自分の考えに生かそうとしたりするように取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションソフトを利用し, 世界の生活水準の話を行う。 授業支援クラウドアプリを利用し, グループ内で意見交換を行わせる。 授業支援クラウドアプリを利用し, グループ内で意見交換を行わせる。
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをまとめ, 具体的な行動を見いださせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業支援クラウドアプリを利用し, それぞれが考える「人権問題への個人的な取り組み」についてグループ内で意見交換を行わせる。

(授業の様子)



プレゼンテーションソフト 授業支援クラウドアプリ



授業の様子

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

プレゼンテーションソフトや授業支援クラウドアプリ，電子黒板を活用して授業を行うことで、教師と生徒との会話がより深まったため、生徒の主体的な学習参加が見られた。今後も、生徒の実態を把握し、単元や目的に応じて ICT を活用していきたい。